

みんなの文芸



俳句 ことぶき俳句会

書き初めの爪の形まで父に似て
空裂いて鳥湧き上がる裸木林
八十路過ぐ病の夫と冬至粥
年の夜の充実でしたと日記帳
また一つ趣味を増やして年暮れる
行く年の野良猫魚を食べている
数え日の値引き節電食支度
年の瀬の漬物談議食べくらべ
大空をしらぬ羽子板飾りけり

川柳 浦幌川柳会

今日の日を照るも曇るも我が心
寒さ増す被災地域に思い馳せ
一歩でも踏み出す笑顔のバズル解く
吾亦紅スラシュ・ドット天に打つ
差ありて決意をゆつくり並べおき
ただ酒も二度三度とは行き止り

川柳 上浦幌句の会

課題吟 家
我家では曾孫囲んで笑み溢れ
秋探し家にもお化粧菊香り
すき間風薪ストーブが赤々と
家紋を見我家の歴史想像し
大家族孫が旅立ち老家族
大津波家を呑み込み消えて行く
主も無く廃家に木枯し吹いて拭け

短歌 心友愛会

吹雪の中リユック背おいて友のもと
積もる話をお土産にして
年迫り一日一日過ぎて行く
子供等集まり新年祝い
お正月色々食材買いそろえ
幸せ多き良い年祈る
年の暮れクリスマス過ぎて年あける
楽しい夢を心に描き
しみじみと昔の事の罪深く
今は遅くて三途の川で
雪多き年明けの中雪掻きで
腰を摩りて一日終える
年明けて一人暮らしの淋しさを
仕事に励みて心とます
子の悩み今年も続くか母なれば
明るいはるを待ち望みつつ
日ざし差すカーテン開くと初日の出
笑顔で一年暮らせるように
相次いで親しき人の去り逝くき
淋しさ深く日々流れゆく
笑い声絶やさず事なく年過ぎて
幸家族に囲まれ生きる
我が胸に過ぎ日の夢は北風に
あわあわとして窓辺をよぎる

編集後記

■表紙の写真は、浦幌町成人式のひとコマです。スーツや羽織袴、晴れ着姿の新人たち。おめでとう！これからの日本を支えていくのは君たちだ！
■2012年がスタートしました。今年はどうな年になるのでしょうか？昨年は暗い話題が目立ったように感じます。今年こそは明るい話題が多い年であることを祈るばかりです。
■寒さも厳しさを増してきました。風邪など引かないよう、皆様お体ご自愛ください。
(川)
■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。